



2024年
12月1日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3
<http://reinanzaka-sc-trp4tokyo.jp>

No. 6 2

ガールスカウト活動 世界に広がる友情・平和の輪
第4団 SCAPP 永橋牧子

小学校までは
霊南坂教会日曜
学校に通っていました。
中学生になって
やっとガールカウト
に入団できました。
土曜日の集会活動は
とても楽しい時間でした。

土曜日が待ち遠しかったものでした。ジュニア、
シニア、レンジャーとあっという間に高校を卒業、大
学生になって指導者養成講習会を迷いもなく受講、指
導者として活動をつづけました。大学卒業後、ガール
スカウト先輩の紹介で幼稚園、日本連盟事務局で働い
たことで、子どもたち、スカウト達とのかかわりが続
きました。トレーナー（指導者養成者）となって東京
のみならず、地方で指導者養成講習会にも参加し多く
の方々と出会い、今も続く交流はスカウト活動が続け
ているわたくしの宝物といえるでしょう。

忘れられないスカウト集会活動

お手洗いの掃除—ガールスカウトのモットーのひとつ「使用後は元の状態にする」を忠実に守った私たち、集会後はお部屋の掃除、そして最後はお手洗い掃除でした。

ナイトハイキング—当時シニアスカウトの頃は、ボーイスカウトと共に活動をする機会が多くありました。その中でもとても楽しいプログラムで、多くのことを学習しました。夜遅くの出発、翌朝朝日のなかを下山という行程は厳しくもありましたが、暗闇の中での登り降り歩行、光のない状況観察などの指導を受け、疲れを忘れ無事帰路に着きました。

いまだ転倒もなく毎日のウォーキングができるのは、この経験が大きく役立っているのではないのでしょうか。

早朝スケートの集い—通常営業前の朝6時から2時間、ボーイスカウト、ガールスカウト、その家族、友人たちとスケートを通して交流の時をもちました。

海外行事参加と長くなる友情の輪

アジア太平洋地域インドに世界センター「サンガム」が創設され日本連盟はアジア地域の国として力強い支援を続けています。数年にわたって、支援行事に

＜スカウト歴＞
1949年 東京第4団入団
1959年 第4団リーダー
トレーナー
東京支部
日本連盟役員
2019年 60年永続奉仕賞
Friends of Asia Pacific WAGGGS 会員
Olave Baden Powell Society 会員

参加し異文化に戸惑いながら多くを学んだセンターでした。日本から多くのスカウト・リーダーが年間行事に参加しています。「サンガム友の会日本」の会員も協力員です。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟センターは、「バックスロッジ」英国、「アワ・シャレー」スイス、「アワ・カバニア」メキシコにあります。

日本連盟に初の国際団誕生 第44団

1965年西町インターナショナルスクール在学学生のご父兄より、日本連盟ガールスカウト団として発団したいとの要望がありました。日本連盟所属団としてはじめて東京第44団として登録されました。リーダーはスカウト出身のアイリン・ストライカーさん、B-P精神を持つ素晴らしいリーダーでした。アシスタントとして活動をご一緒させていただいたことは国際理解を深める経験となり感謝に堪えません。ストライカーリーダーのお嬢様スージーとは今も交流が続いています。

ガールスカウト活動??

数年前ガールスカウト日本連盟の行事サンガム友の会に出席、西日本豪雨で大変な被害を受けられた倉敷在住の小学校の先生と同席しました。復興のなかで支援学級を担当し多くの困難に直面し乗り越えられたのは、スカウト活動の経験、体験、知識がどれほど役立ったかとの話を伺い、スカウト活動の力に感動談議は尽きませんでした。

これからは?年齢に応じた奉仕、活動への支援

霊南坂教会ガールスカウトで育てられ、今も活動へのご奉仕が続けられるのは神様から与えられた役目だと受け幸せ感謝です。また、多くの方々のご指導、ご支援に心より感謝しております。

終活作業でガールスカウト時代の技能帯を整理しながら、技能は「他の人に役立ちます」の印と学んだことをふりかえり、正にガールスカウト活動を通じて得られた経験や友情が、生きていくための「道」なのだと実感しました。

年齢を重ね奉仕活動のかたちも変わりました。現在は日本連盟への行事参加、交流。アジア太平洋地域活動支援（リーダー養成機会の増強、地域内ガールスカウト交流機会の拡大）を Friends of Asia Pacific WAGGGS 会員として協力を続けています。

ボーイスカウト・ガールスカウトの活動

(ボーイスカウト)

2024年ボーイ隊夏キャンプに参加して

ボーイスカウト港第1団 ボーイ隊 大井 寛晃

この夏僕は西湖にキャンプに行きました。今回のキャンプで学んだ事の一つはテントのフライはしっかりはること、2つ目は好奇心の使いどころはしっかり考えようということです。

一つ目の理由はテントのフライをしっかり張っていなかったのに夜に雨が降った時にテントが濡れてしまい乾燥作業が大変だったからです。二つ目の理由は夜に机に虫がいたので、触れるとかまれてしまい30分もの間離れませんでした。結構痛みもあり、恥ずかしい思いをしながらリーダー達にまで助けを求めてピンセットでやっと取ってもらいました。知らない虫に何も考えずに触るのはやめようと反省しました。今となってはいい思い出です。

一番楽しかったのは西湖を2時間位かけてカヌーで渡り横断したことです。二人一組で息を合わせて漕ぎました。人生ではじめて乗るのでひっくり返ったりしないかと少し不安でしたが思ったより簡単で楽しかったです。

楽しいことやつらいこともありましたがいいキャンプだったと満足しています。



(ガールスカウト)

2024年8月3日～7日川崎市八ヶ岳少年自然の家

『力を3つ合わせたら』ブラウニー部門 椿原江梨花

今年のキャンプはブラウニーで一番上の学年になったので、しっかりしなくてはと、ふ安ときんちょうがあつてきょ年までと少しちがう気持ちでいました。でも、たてものたんけんをみんなできょう力して進んでいるうちに、心がほぐれてきました。今年から野えいに行ったなかよしの四年生がとても楽しそうにしていたのを見て、もっと安心しました。

二日目は森の中でバーベキューをしたりたくさん遊んで、夕方体いく館に着くと、リーダーが開けたとびらの向こうにたくさんの光が道のようにならんでいました。きりかぶにろうそくがかざられていて、リーダーが火をつけてくださりながら進むとほのおで明るくなりました。あつという間に陽がしずんであたりはくらくなつたけれど、ろうそくの火がほのかにやさしくてらせてくれました。みんなの顔がまるで水の中にいるみたいにぼんやりゆれていました。帰り、雲の横を通る高いロープウェイで行った入かさの野原はたくさんのお花とかわいいちょうちょやトンボでいっぱい、絵本の世界に入ったみたいでした。東京に帰るのがしんじられないような気持ちでバスにもどりました。



ジュニア部門 志水 朋香・楓香

私たちは、ジュニア最後のキャンプに行きました。その時に楽しかったことは四つあります。

一つ目は、1日目のテント建てです。雨が降る前に、みんなで協力して早く建てました。

二つ目は、2日目のピザ作りです。生地を伸ばすところから手作りし、焼き上がったピザは様々な種類があり、とても美味しかったです。

三つ目は、3日目のキャンプファイヤーです。開始時に「ハラハラ・ドキドキ・ワクワク・キャンプ!!」と言う大役を任せられ、本番でもミスせずに言えて良い経験になりました。

四つ目は、4日目のパノラマリゾートです。ゴンドラで登った先に広がる絶景や、咲き誇る花がとても綺麗でした。「恋人の聖地」の鐘を鳴らすのも楽しかったです。ジュニア最後の夏キャンプ終わり、いつもの毎日が訪れました。

皆さんは、この夏、どんなことをしましたか？時間は待ってられません。今振り返ってみて、良い夏だと思えるといいですね。



シニア部門 上村 麻里香

今年のキャンプは、シニアとして最後の夏キャンプでした。

私がキャンプの中で特に印象に残っているのは、大雨の夜に避難したことです。テントの中で寝ていると、急にリーダーたちが来て、避難の指示をされました。私はこんなことは初めてだったので、少し戸惑ったし、不安になりました。避難中も、周りが暗かったので怖かったけれど、リーダーや手伝いで来てくれた方たちが誘導してくれたり、宿舍入口でぬれたところを拭くために待機してくれていたりで、とても安心することが出来ました。夜中に避難するのは初めてで焦ったり不安になったりもしたけれど、良い経験になったなと思いました。

また、私は、キャンプファイヤーも印象に残りました。今年は室内でのキャンプファイヤーでしたが、シニア全員で考えたスタントをみんなの前で発表したり、他の部門のスタントを観たり、みんなで歌ったり出来たのが、とても楽しかったです。

このキャンプでは、パトロールリーダーとして色々な活動をしたので、去年や一昨年とはまた違った苦労や楽しさを感じたキャンプでした。これからも、色々な面で成長できたらなと思いました。



「夏キャンプを終えて」 レンジャー部門 田中 美羽

今回のキャンプは私にとって、今までのキャンプの中で何よりも「初めて」が多いものでした。レンジャーとしての参加、4泊5日間のキャンプでは、様々な「初めて」がありました。その中でも、前泊からの参加者が私一人であったことと大部屋にただ一人で寝たことは、最も印象深く楽しかった思い出です。

初日から参加出来るスカウトが私ただ一人になり、なかなか体験出来ない出来事がありました。テント張りや荷物をおろすのは大変でしたが、スカウトが私一人故に比較的有意義な時間が多かったです。4泊5日の中で、その日のみが忙しくない一日だったと感じます。そして、大部屋に一人で寝たことです。レンジャー全員がテントに入らないということで、一日長くキャンプをしている私一人で13人程が寝られる宿舍の部屋に寝ることになりました。



最初は孤独感が凄まじく怖かったものの、徐々に慣れて安眠していました。それもつかの間、雷雨が酷く午前四時にはテントにいたスカウトの皆が宿舍に移動してきました。私も雷雨の音で目が覚めてしまっていて、再び孤独感を感じてきていたのでとても嬉しかったです。この緊急避難もまた初めての経験だったと思います。

今回の4泊5日のキャンプ、最後の方は体力が限界であり記憶にありませんがとても貴重な経験をしたことだけは忘れられません。



「4団祭り」 9月7日 霊南坂教会3階ホール

猛暑が続いた今年の夏、そして台風や豪雨も多かった2学期最初の集会は、全部門でお祭りをしました。

昔は、ボーイスカウトと合同キャンプファイヤーを行なっていましたが、夜でも暑い東京の夏、リーダー不足の今では現実的にファイヤーをするのは厳しくなりました。

「でも、何かみんなでしたい」という思いから、ヤングリーダーにこの企画を託しました。

花火（絵の花火）やうちわ作り、フルーツ水飴、ソース煎餅、チョコバナナ、お菓子すくい、スカウト踊りタイムと楽しい時間はあっという間に過ぎました。お店屋さんを手伝うスカウトや保護者もいれば、浴衣姿で縁日を楽しむ笑顔あふれる時間になりました。



安積 発也兄(通称 ハッピー)は、2023 年 10 月 米国 Maryland 州にて行年 85 歳でご逝去されました。ここに、長い年月スカウティングでのお交わりに感謝して心からご冥福をお祈りします。



霊南坂スカウト創設初期の数多くの優れた仲間の中から、'54 年全国 64 名の名誉スカウトキャンプに東京第 4 団から派遣され日本初の名誉スカウト 6 名の一人として授与されました(注 1)。

BS 創設時、志水、飯田両兄のリーダーはじめ音楽的感性に優れたスカウト達の中で、安積兄もヨーデルを得意としてスカウトソングを歌いスカウティングを楽しまれておりました。その頃 BS と GS はお互いのスカウト活動での交流が盛んで、特に安積兄はご自分が GS の中で信頼と人気があるとの自負があった様で、必ず BS の同期仲間を誘ってナイトハイク等参加しておりましたが同期仲間は迷惑だったかもしれません(注 2)。

大学を卒業し大手総合電機企業に就職した後もシニア隊長としてスカウト活動を続けられ、1963 年に従来から検討の八ヶ岳縦断移動キャンプを実施されました。リーダー安積兄、サブ五十野兄、上班大浜兄の 3 名とスカウト 11 名による車中 2 泊、野営 3 泊の移動キャンプです。唐沢側から入山し、天狗岳～硫黄岳～横岳～赤岳直下までの八ヶ岳尾根ルートを走破。(注 3) 途中、安積兄の素敵なヨーデルが八ヶ岳の山々に響き、行き交う登山者も聞いていたそうです。しかしエネルギーを使った為かその後少し元気が無くなり、赤岳直下から下山へと広い海ノ口牧場を横断するもなかなか終着点が見えず、疲労困憊の我々が「あとどれ位?」と聞くと、安積兄は「あと 5 分」「あと 5 分」ー「あと 5 分」と云うだけ。皆は黙って牛の糞を踏みながら歩き、ついに日本最高度の佐久海ノ口駅に一人の落伍者も出さず全員無事に到着(注 4)。後日聞いた話では、「この計画の一番の心配事は、尾根道で脱落者が出た時の対応で色々な対策を協議した」との事。熟達したスカウティングの体現者でした。

'64 年大手総合電機企業を退職し渡米。コーネル大学に留学後、日本人初の国際連合事務局職員として採用され、低開発国担当としてアフリカやアジアを東奔西走の後、世界銀行に転職しコンサルタントとしての活躍ぶりを伝え聞きました。その間にイタリア系米国女性と結婚され、日本に幾度か帰国時に BSOB 仲間と旧交を暖めていましたが、'12 年の帰国時の集まりに欠席されてから、音信が途絶えがちとなってしまった事が残念でなりません。

最後に改めて安積兄の霊南坂スカウトへの指導と貢献に対して感謝申し上げると共にそのご冥福をお祈り申し上げます。

三指



[※スカウトクラブ H.P]

注 1 : →ナビタグ[記録・資料]→[各団発行機関誌]→[BS Smile]→[スマイル第 33 号]安積兄寄稿。

注 2: [活動写真]→[年度別写真集]→[1962 年]→[GS 上級陣馬山ハイク]。

注 3: [活動写真]→[年度別写真集]→[1963 年]→[BS シニアハヶ岳キャンプ]。

注 4: →ナビタグ[記録・資料]→[記念誌]→[20 周年記念誌]

→28 頁「キャンプ camp きゃんぷ」

※<http://reinanzaka-sc-trp4tokyo.jp>

又は下記 Q R コードからアクセス下さい



今こそ スカウト精神を



＜スカウト歴＞
1958 年 G.S c o u t
東京第 4 団入団
1965～67 年 ブラウニー
正リーダー

2 年先輩の日下部珠子さん（B.S 日下部英一さんの姉上）に誘っていただき、土曜の午後に霊南坂教会の集会に出向いたのがスカウト体験第一日目でした。

そこには約束を唱えたり、童謡でも唱歌でもなくチェチェコレ？とかアチャパチャノーチャ？？とか意味不明な不思議な歌を動作つきで唄っている同世代の人達の楽しそうな笑顔があったので、心弾む時間に私も参加したいナァと思い入団を決めました。

リーダー達は歌がとても上手で初心者で不器用な私にも優しく丁寧に教えて下さったので緊張せずにすみしました。

大先輩の喜久子リーダー、ターコさん、牧子さん、富江チャン、ツカコさんの明るい声は今でも耳に残っています。

数年後、同学年の豊原さんと共にブラウニー正リーダーのターコさんのお手伝いをするようになるのですが、一瞬で子供達の心を惹きつけるターコリーダーの存在は太陽の様にキラキラ輝いていました。

お母さんのスカートの裾を離さなかったシャイなスカウトが初めての 2 泊 3 日のお泊りキャンプ後、顔つきが変化し成長が見られた事や、何度も何度も練習したオペレッタ“みにくいアヒルの子” e t c、e t c 懐かしい思い出が沢山あります。



（榛名高原キャンプへ出発）



（鎌北湖キャンプ）

ターコリーダーの結婚を機に正リーダーを引き継ぐ事になりました。荷が重く自信が無かったけれど、妹のいない私にとって無邪気で何でも話してくれたり、時にはやり込められたりする時間がとても楽しかったので気負わず自分なりのリーダーになれたらと思います。

クロチャン（黒部）、ユキ（伊藤）、トコチャン（旧姓：壇上）3 人の頼もしく心強い副リーダーに支えられて 2 年間のリーダー生活を終え結婚しました。



結婚式当日には沢山のブラウニーがお祝いに駆けつけて“ホッコリーダー”おめでとう！！と言ってくれた事が何より嬉しくて涙が出ました。

山田紀代（旧姓：堀越）

あれから 60 年以上たった今でも家事の合間や散歩の時などにフト スカウトソングを口ずさむ事があります（なぜか？？お気に入りには山賊の歌）。集会毎に皆で唱えた約束やおきてもしっかり心に残っています。声を出して唱えるって大事ですね。

初々しい花嫁花婿が結婚式に唱える誓いの言葉や政治家の公約なども、初心を忘れない様に時々声を出して唱えた方が良さそうですね。

そなえよ常に！と震災時に備えて非常袋の再点検もしています。荷造りが上手ね！と誉められるのも、縄結びを習ったお陰。生活のあちこちにスカウトで覚えた事が役立っています。

罪のない多くの人達が犠牲になる戦いを見聞きする度に、地球は一つ、人類は皆兄弟！とはいかないまでも、スカウト精神・活動がもっともっと広がると良いのにナァと感じています。

ブラウニーの集会の時に皆で唄った“私達はブラウニー進んで人を助けます。私達のいる所、みんな楽しくいたしましょう”簡単な歌詞だけれど的を得てますね。

4 回目の成人式（81 才）を終えた今、ガールスカウトの約束やおきて、そして 50 年以上共に過ごした義母の口ぐせ“お天道さんが見てる”“生きてるだけで丸もうけ”などの言葉を胸に止め、物忘れが多くなっても嘆かず、身体の部品が劣化してもメンテナンスすればまだまだ使えると思い、柔軟な気持ちで日々明るく過ごしたいと思っています。



G.S 上級陣馬高原ナイトハイク

1962 年 12 月 1 日

B.S の高橋さん、安積さん、上級スカウト仲間の声かけ、励ましで無事登頂出来ました。

有難う！

（股関節脱臼だったので山登りは無理と諦めていただけに少し自信になりました。）



靈南坂スカウトクラブ 告知板

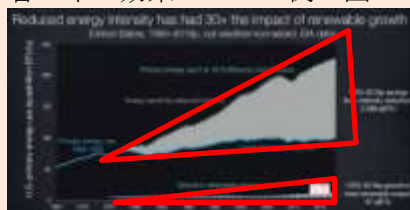
スカウトとSDG s活動

2023/1/21 TBS省エネ設備見学 1, 目的

‘21年SDG s MTGでSCから再エネ・省エネのプレゼンをしました。そのプレゼンの中で脱炭素に於ける省エネの効果と重要性が極めて大きい事を説明しました。そこで省エネ技術の一つとして、コージェネ（熱電気併給）を先進的に実施しているTBSの設備を見学しました。

2, 内容復習

省エネの効果：USの例：図1



★図1：1975-2018 US一次エネルギー（化石）の削減量（上白い部分）は、下再生エネルギー累積の30倍（大三角形/小三角形）である。→US（日本も）はまだまだ絞りがある→省エネが不充分では

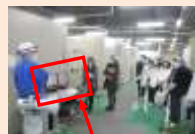
3, 見学場所

1) 場所：TBS：赤坂熱供給株式会社第二プラント：赤坂Bizタワー地下3F



2) 内容

- ・ガスタービン（GT）コージェネ（CHP: Combined Heat&Power: 熱電併給：発電し発電後のENG排熱も供給する）はCO2を削減しSDG sに貢献しています。
- ・CHP：都市ガス（13A、主成分メタン）でGT&ガスENG発電&排熱を利用しています。
- ・排熱で吸収冷凍機に依り冷水・ボイラーで温水を作りTBSの3棟（BIZ、放送センター、居住区）に電力と熱を供給しています。



GT発電の説明

3) 参加者感想

- ・シンプルに楽しかったです。知らなかった事も多かったし、今まで授業の目でしか見たことが無かったタービン始めとし発電機が見れて面白かったです。化石燃料以外の燃料源の開発に興味がありました。
- ・もう少し省エネについて学校とかでも、詳しく学べる所があると思った。

詳細は下記QRコードSC-HPを参照下さい



- ・2021/11/13：スカウトとSDG sを語る
- ・2023/1/21：省エネ：TBS 赤坂熱供給(株)見学



GTの遠隔運転を体験しました



(7/25 神谷町エー-閉店の会：左から高玉・渡辺・杉田・龍兄)

エリーが閉店とは(!)

そんな(えー)ソナ(そんな)

本当にお世話になりました(感謝)

西郷

長い間、スカウト仲間の会合や食事にご利用させてもらい感謝です。白井うわあ～残念！餃子食べたかったなあ～：塚田

えーっ 😞 エリー閉めちゃうんですか：西谷

我が家の中華は朱さん直伝です。

お疲れ様です：渡辺博/邦子

【召天者】

・小林考江姉

【スカウト催事予定】

スカウトのクリスマス礼拝：12月14日
開場 15:45 開始 16時

教会のクリスマス礼拝：12月22日

クリスマス燭火賛美礼拝：12月24日

スカウトサンデー：2025年2月16日

イースター：4月20日

会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

年会費 3000円/年 家

族会員 2000円/年

入会金 1000円/入会時のみ

振込先「ゆうちょ銀行」

00170-4-765234

他行からの振込みの場合は下記宛てにお願い致します。

銀行名：ゆうちょ銀行

店名(店番)：ゼロイチキュー(019)

預金種目：当座

口座番号：0765234

口座名称：靈南坂スカウトクラブ

【靈南坂スカウトクラブ役員】

会長	西郷崇子
副会長	田中新二
会計	臼井純一
総務	高玉 大
	塚田洋子
	杉田憲彦
書記	檜垣君子
通信	西谷芳美
	小田島典子
会報・団	矢澤宏子
会報	渡辺 博
H.P	臼井純一
教会・団	内藤正樹
	ボーイスカウト団委員長
	古谷久代
	ガールスカウト団委員長
監査	五十野和男

【編集後記】

安積兄のシニアリーダー時代縦走物語を拝読し当方スカウト&リーダーの時の移動キャンプを思い出しました。私は体力・技量を考え平地60～70km3泊4日約20kg迄のザックを背負い5回実施しました。まずは完走が目的。それでも満足感あるキャンプでした。振り返ると事故も無く本当に良かったと思います。